



## 2. 指標設定

成果指標	指標名	受け入れ体制の充実	目標年度	H26	指標の設定理由				
	数値	11ヶ所			豊後大野市キラキラ子どもプランに目標として設定されているため				
活動指標	指標	a	情報の発信	b	職員研修の推進	c	民間委託	d	補助金の見直し
	数値	目標	—	目標	年2回	目標	8ヶ所	目標	—

## 3. 実績（上段・実績／下段・達成率）

成果指標名	単位	H23	H24	H25
受け入れ体制の充実	ヶ所	11	11	11
		ヶ所	ヶ所	ヶ所
		100.0 %	100.0 %	100.0 %

活動指標名	単位	H23	H24	H25
a 情報の発信		—	—	—
		—	—	—
b 職員研修の推進	回	2	2	2
		100.0 %	100.0 %	100.0 %
c 民間委託	ヶ所	8	8	8
		100.0 %	100.0 %	100.0 %
d 補助金の見直し	千円	18,819	18,908	19,966
		千円	千円	千円

## 4. 課題と対応

課題
近年増加する障がい児の受け入れ体制。
対応（改善点等）
障がい児対応研修の実施と指導員の増員。

## 5. 事業費・・・H23～H25（決算額）、H26（予算現額）

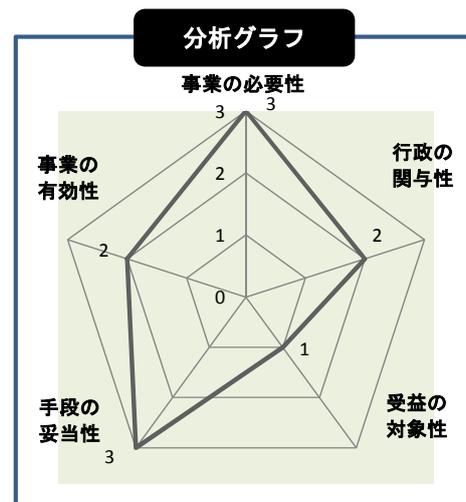
決算額（千円）		H23	H24	H25	H26
		32,817	36,121	41,289	44,354
うち経常経費		32,817	35,753	41,289	44,354
財源内訳	国費				
	県費	18,819	18,908	19,966	19,966
	市債				
	その他	46	46	45	
	一般財源	13,952	17,167	21,278	24,388
うち経常		13,952	16,799	21,233	24,388
事業費に係る人件費		1,290	1,718	1,744	1,331
事業費に係る人役		0.30	0.40	0.40	0.30

## 6. H27年度予算の方向性

方向性
前年並
理由
全ての小学校区に設置したことから、今後は現状を維持する。

## 7. 担当課による分析

着眼点	分析	分析根拠
① 事業の必要性	必要性の再確認	3 県の補助事業であり、引き続き現行制度で推移していくと思われる。
② 行政の関与性	責任領域の精査	2 民間によるサービスの供給が可能であり検討の必要がある。
③ 受益の対象性	事業対象の確認	1 小学校低学年の児童に限られているため。
④ 手段の妥当性	活動指標の分析	3 児童の健全育成を図る上で、活動指標は適切である。
⑤ 事業の有効性	成果指標の判断	2 目標に対する達成率は高く、有効性は高いと判断できる。



## 8. 内部評価委員会評価（委員会評価）

事業の方向性	評価内容
継続	利用者ニーズを踏まえ、適切な事業実施に努めること。